

船舶事故等調査報告書

平成26年9月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第34号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年2月19日（水） 16時10分ごろ
発生場所	長崎県佐世保市 ^{おおひらせ} 大平瀬北西方沖 佐世保市所在の ^{ひぜん} 肥前大平瀬灯標から真方位325° 350m付近 （概位 北緯33° 10.6′ 東経129° 36.5′）
事故等調査の経過	平成26年5月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客フェリー ニューフェリーくろしま、198トン
船舶番号、船舶所有者等	134600、黒島旅客船有限会社
乗組員等に関する情報	船長、六級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船底に凹損及び擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、旅客26人を乗せ、車両7台を積載し、大平瀬北西方沖を約11ノットの対地速力で手動操舵によって東進中、船長が、北東の風に圧流されることを考慮し、ふだん、航行しているコースよりも左側に寄って航行していたところ、平成26年2月19日16時10分ごろ‘大平瀬北西方沖の浅所’（以下「本件浅所」という。）に乗り揚げて擦過した。 本船は、旅客、車両及び船体等を調査したところ、異常がなかったことから、航行を続けた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約8m/s、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 低潮時
その他の事項	海図W1234（ ^{うすのうら} 臼浦港、 ^{あいのうら} 相浦港及付近）によれば、本件浅所以北には暗岩等の浅所が散在しており、本件浅所と大平瀬間の水深5m以深の可航幅は、約150mである。 船長は、0.75海里レンジとしたレーダー及び目視により、船位を確認していたが、正確な位置を確認していなかった。 船長は、佐世保市相浦港～佐世保市 ^{くろしま} 黒島漁港を1日3往復しており、本事故発生場所付近の浅瀬や暗礁の存在を知っていた。 本船の喫水は、船首約2.4m、船尾約2.6mであった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり

判明した事項の解析	本船は、大平瀬北西方沖を北東の風を受けて東進中、船長が、ふだん、航行している進路よりも北側に寄って航行したことから、本件浅所に向けて航行することになり、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、大平瀬北西方沖を北東の風を受けて東進中、船長が、ふだん、航行している進路よりも北側に寄って航行したため、本件浅所に向けて航行することになり、本件浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 浅所が散在する海域において、風の影響を受けて航行する場合は、避険線を設定するなどし、適切に可航水域を航行していることを確認すること。